

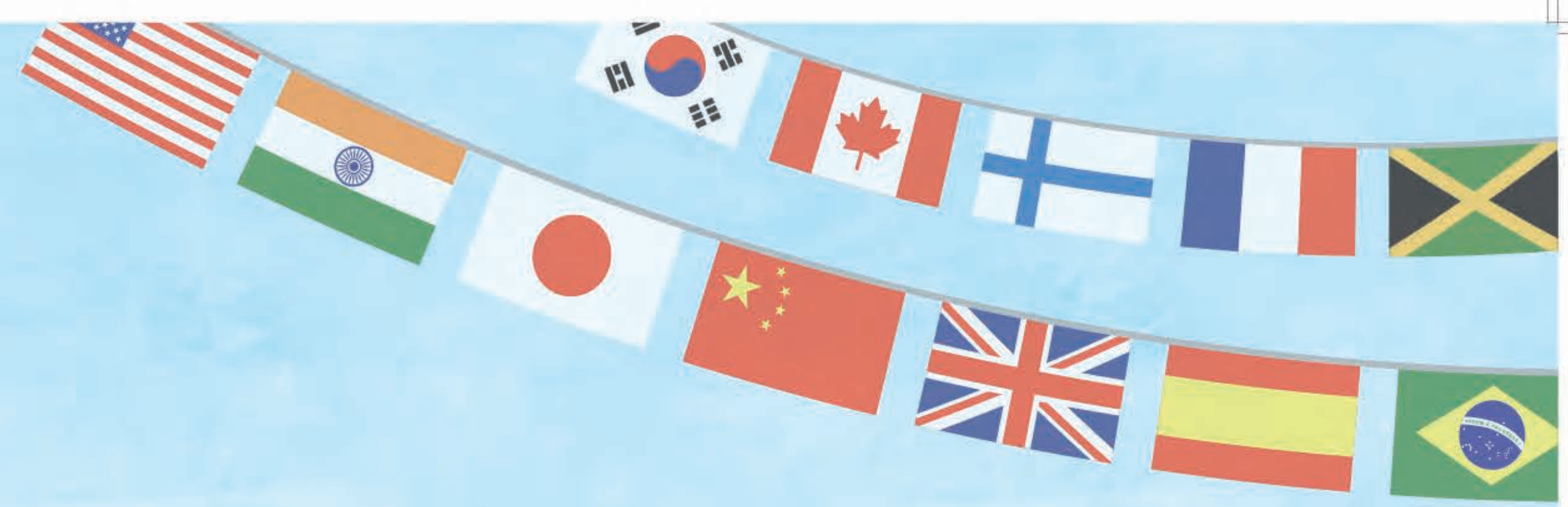
クイズで考える けんりじょうやく “子どもの権利条約”

「こどもまんなか」社会のために

2024年、“子どもの権利条約”は
国連採択より35周年、
日本の条約批准より30周年を迎えました。
クイズに答えながら、
「子どもの権利」「こどもまんなか」の
社会について、一緒に考えてみましょう!

※クイズと回答は、創価学会女性平和委員会が、中高生世代を対象に実施したオンラインアンケート
「クイズで考える“子どもの権利条約”」(2022年2月～8月)より抜粋しています。





Q1 「子どもの権利条約」では「子ども」は何歳までと決めているのでしょうか？



- A** 15歳未満
- B** 18歳未満
- C** 20歳未満

A

B

C

Q2 「子どもの権利条約」を「守ります！」と約束した国（^{ていやくこく}締約国）は世界にいくつあるのでしょうか？

- A** 147 カ国・地域
- B** 182 カ国・地域
- C** 196 カ国・地域



A

B

C



1つ選んでシールを貼ってね



Q3 子どもの権利について「子どもの権利条約」には
どう書かれているでしょうか？
趣旨しゅしに合っていると思うものを選んでください（複数回答）



A 子どもも大人も、人間として同じ権利がある

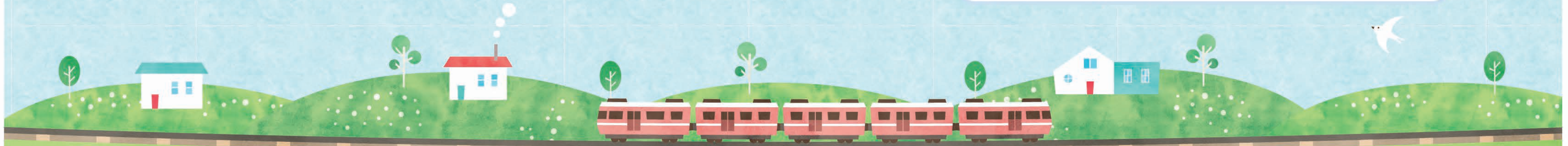
B 子どもは未熟だから、自由に考えたり
意見を言う権利は制約される

C 子どもは心も身体も発達途上だから、
特別な配慮が必要



D 子どもは衣食住が十分に保障され
差別なく教育を受ける権利を持っている

E 子どもより大人のほうが判断力に優れている
ので子どものことは大人が決めるほうがよい

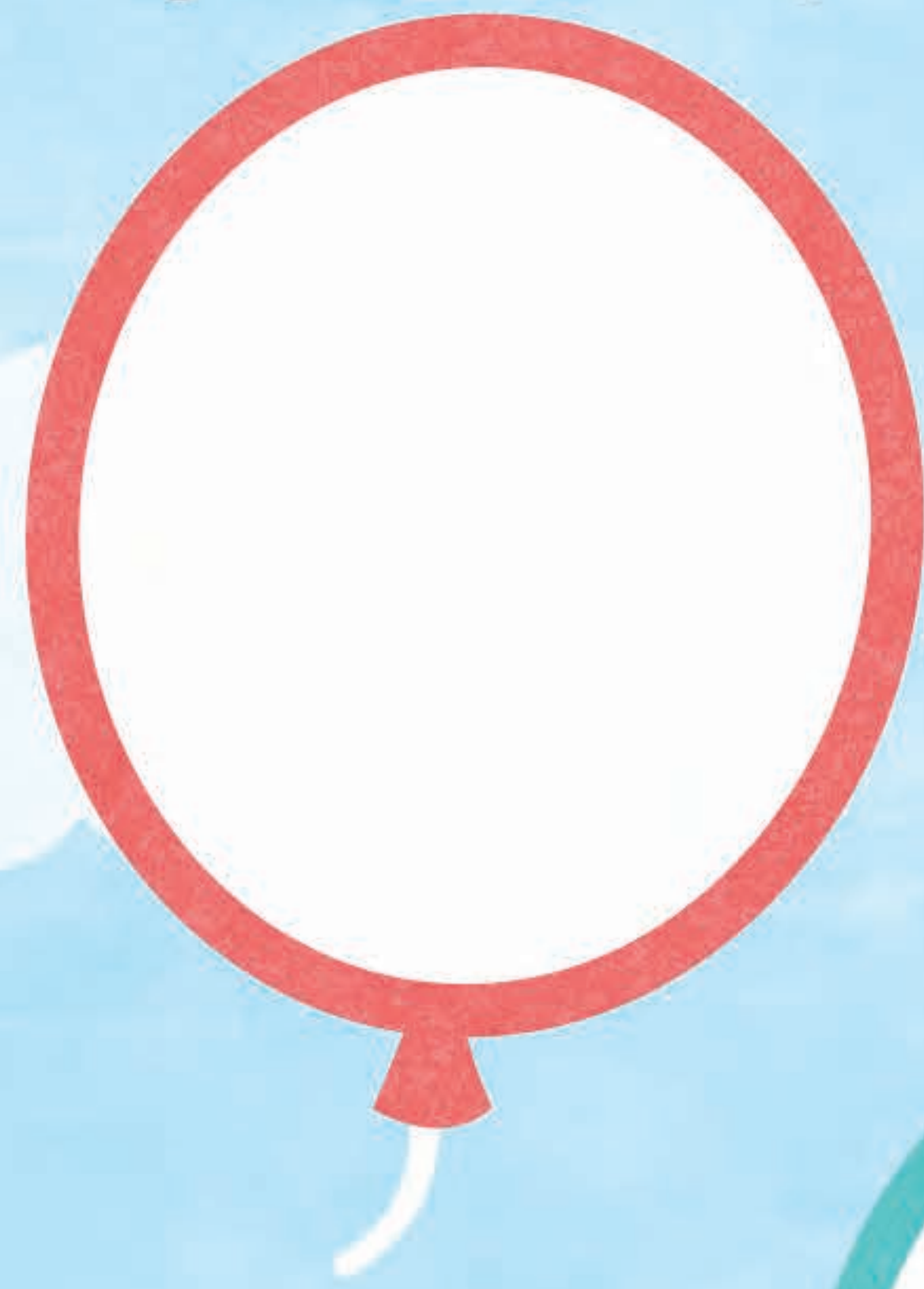


Q4

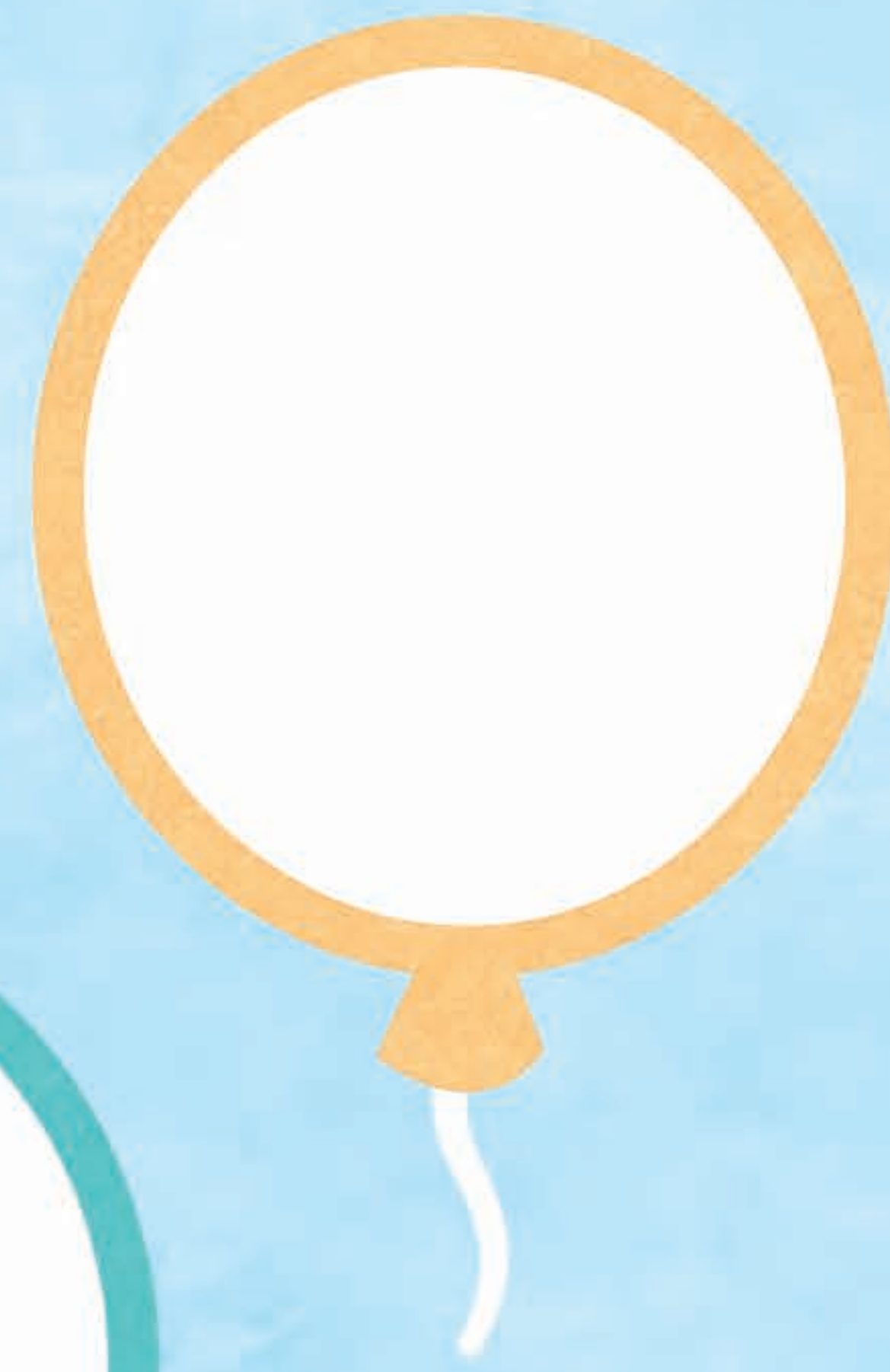
あなたやあなたのまわりでは、
子どもが、暴力や虐待から
身を守られていますか？



よく守られている



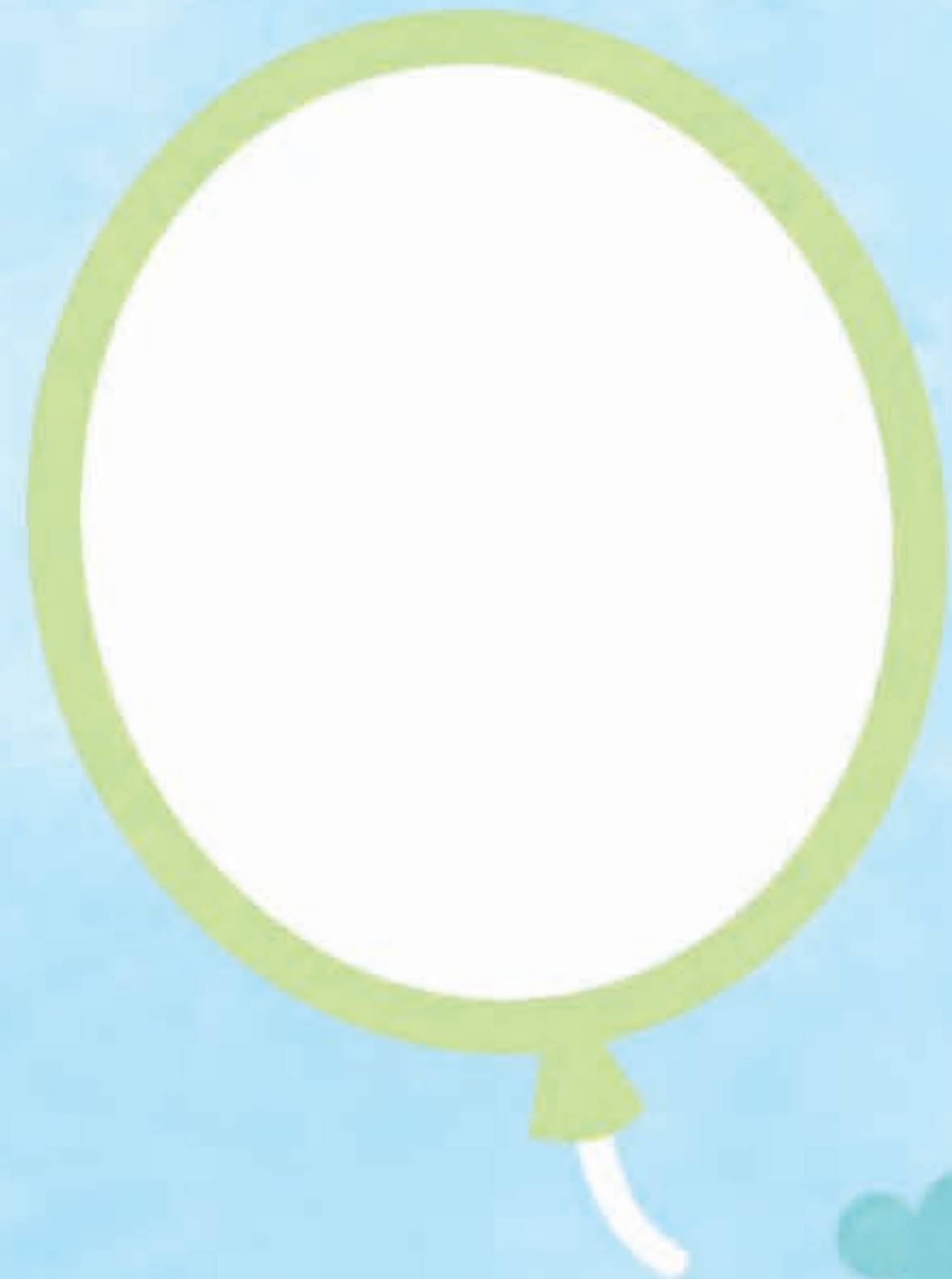
守られている



ふつう



守られていない



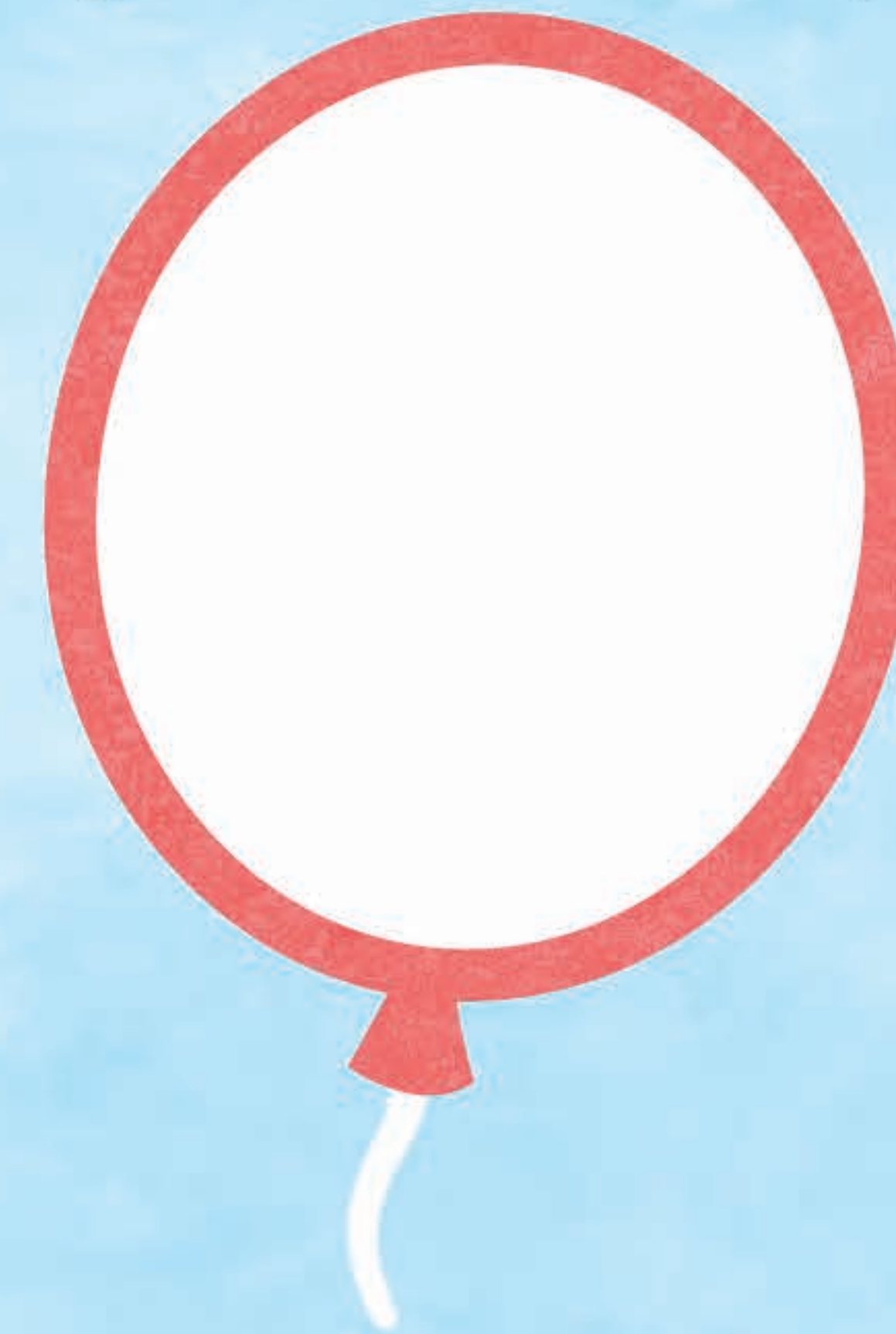
全く守られていない



Q5

あなたやあなたのまわりでは、
子どもは、自分自身にかかわること
について意見を聞いてもらえていますか？

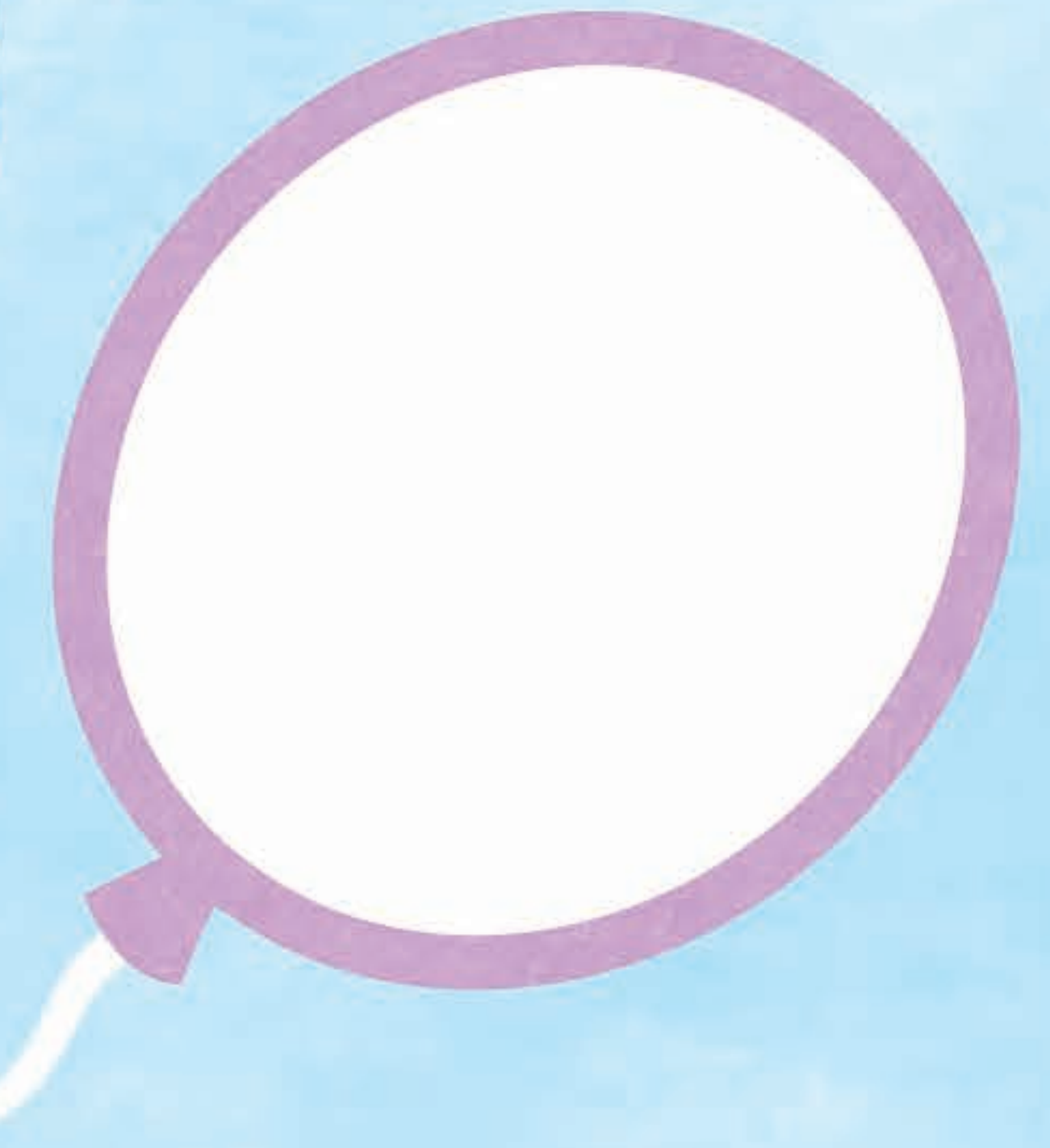
よく聞いてもらえます



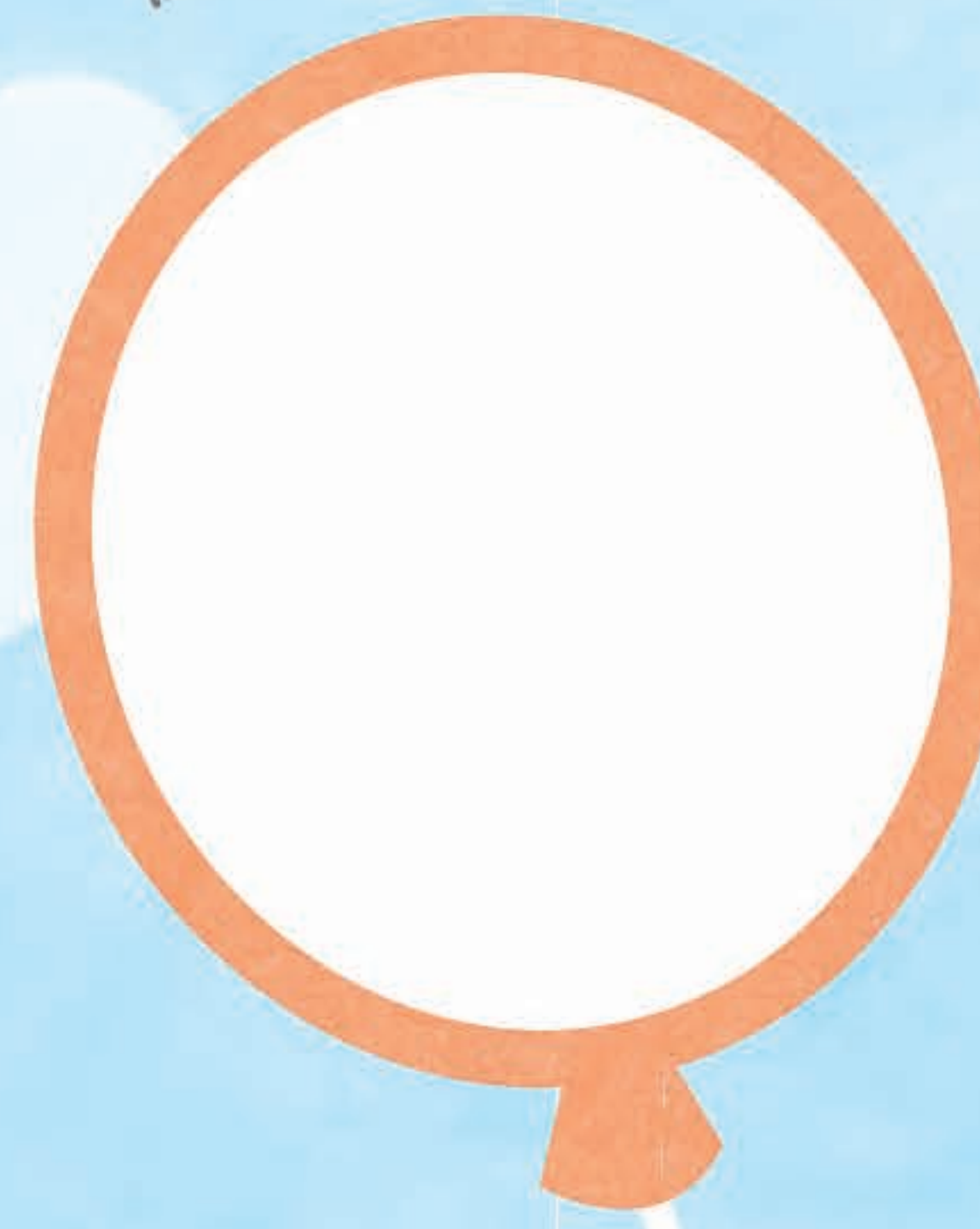
聞いてもらえます



ふつう



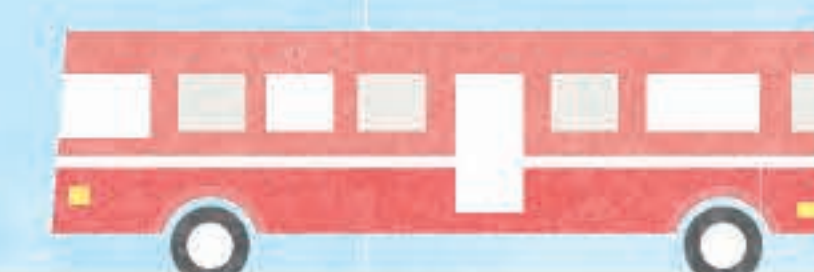
聞いてもらえない



全く聞いてもらえない



1つ選んで
シールを貼ってね



Q6 家や学校などで自分の意見を「聞いてもらえない」と感じるのは どんなときですか？

みんなの声

兄の方がすごいと
考えている家族だから

15歳

学校で先生との折り合いが
つかなかった時に誰にも
言えずに苦しくなった

16歳

進路選択の時や自分の
意見を言おうと思っても
途中で遮られて
ちゃんと聞いてもらえない

17歳

親が忙しい

15歳

僕の意見は
だいたい
否定される

12歳

聞くだけ聞いて何もしてくれない
そうやっていくうちに
誰にも相談しなくなっていく

15歳

子どもが何かを
言っても結局は大人の
事情が優先される

13歳

真剣に聞いて
もらえない

15歳

逆に聞いてもらえる
場面なんて
あるんですか？

16歳

大人は
常識という言葉で
言いくるめてくる

16歳

やりたい事を大人に
言っても頭ごなしに
ダメだと言われる

12歳

あなたはどんな時に
感じますか？

Q7 子どもが必要な情報を知り自ら意見を発信するために社会はどんな工夫をしたらよいと思いますか？



みんなのアイデア

※一部の回答を紹介しています

子どもにも政治に関わる機会を与えて欲しい。
世界について学べる機会を授業などで増やして欲しい。 **15歳**

自己肯定感を高める教育をする。 **13歳**
専門的な相談員に、身近なところで気軽に相談できる環境をつくる。

子どもだからとバカにしない、意見について、一緒に考えてくれるような社会作り。 **17歳**
大人も心の余裕が持てるような、大人にもサポートがあるような社会作り。

大人が偉い、大人の考えが正しいではなく、大人が子どもの意見を聞いて実現してあげる。そして、子どもも自分が意見を伝えるだけでなく、自分の意見を実現できるように大人と協力し合って生きる。 **13歳**

里親をもっと増やしてあげたり、一時預かりなどが増えたら、気軽に安心して駆け込む事ができるのかなと思う。 **12歳**

大人に相談する事って大人が思ってる以上に子どもはできないので周りの大人に言えるってすごいと思う。周りの大人に言えたらすごいと褒めてもらいたいです。 **16歳**

親、学校以外で発信する場がほしい。
ネットではなく人と話せる場所。 **16歳**

自分から発言したりするのが難しい子や困難な子が伝えやすい空気を作る。 **13歳**

子どもでも理解できるように簡単で分かりやすく書いたニュースの記事サイトなどを作る。 **16歳**

世界の指導者と世界子ども平和会議はどうでしょうか。 **13歳**

全ての学校、公民館、図書館、駅、市役所に18歳未満のみが匿名（デジタルタトゥーを防ぐため）で投函できる目安箱を設置する。 **17歳**





未来部の代表がスロベニア大使にインタビュー

人権を学ぶことは 他者をリスペクト すること

Respect for other people
is the essence of
human rights

ブランカ・ヤムニシツク大使



PROFILE

ブランカ・ヤムニシツク

スロベニア外務省外交官。スロベニア防衛省勤務の後、外務省入省。NATO(北大西洋条約機構)の参事官、OSCE(欧州安保協力機構)および欧州議会のスロベニア政府代表部、在ウィーン国際機関スロベニア大使等を歴任。

2005年にスロベニアがOSCEの議長に就任した際、子どもの権利を教える人権教育を目的とする国際プロジェクト「わたしたちの権利」を創設。以来、同プロジェクトの教材は24言語に翻訳され、26カ国で30万人以上の子どもたちが子どもの権利を学んできた。

Q 中高生が人権を学ぶことの意義について教えてください。



A 皆さんが人権について学ぶことで、必ず人生におけるベネフィット(利益)を得ることができると信じています。自分がどんな権利を持っているのかを知ることは、そのまま他者が持っている権利を知ること。つまりそれは、他者を尊重していくことにつながるからです。自分も他人もリスペクトできるようになることは、人間が精神的に発達していく上でとても重要なことです。



Q もし、いじめられている友人から相談を受けた場合、どのような行動を取ればよいでしょうか。



A いじめに遭遇したときに大切なことの一つは、いち早く身近な大人に助けを求めること。最も怖れるべきは、スルーしてしまうことです。時間がたつほど、状況は複雑化してしまうからです。様子を見るのではなく、すぐに行動を起こすことが重要なのです。もう一つは、助けを求められる大人の側が、どう対応すべきなのかといった教育訓練を受けることです。いじめは子ども社会だけの問題ではありません。自身のためにも、子どもたちのためにも、日頃から学んでいくことが大切なのです。



スロベニアってどんな国？

イタリアやクロアチアなどに接する中央ヨーロッパの国です。人口は約210万人で、国の面積は日本の四国と同じくらい大きさです。水資源が豊かで森林部分も多く、'アルプスの真珠'、とも呼ばれるほど自然の魅力がいっぱい。1991年にユーゴスラビアから独立し、2004年にNATO、EU(欧州連合)に加盟しました。

教育ツール

「わたしたちの権利」って？



子どもの基本的人権を保障した国の「子どもの権利条約」の内容を分かりやすく学べる紙芝居です。

また、それぞれの項目に対して、「その権利が無かったら？」など、ディスカッションすることで、新たな気づきを得ることができます。

REPUBLIC OF SLOVENIA

INTERVIEW WITH AMBASSADOR BLANKA JAMNIŠEK OF THE REPUBLIC OF SLOVENIA

わたしたちの権利！好きなカードはどれですか？

シールを貼ってね

生存の権利



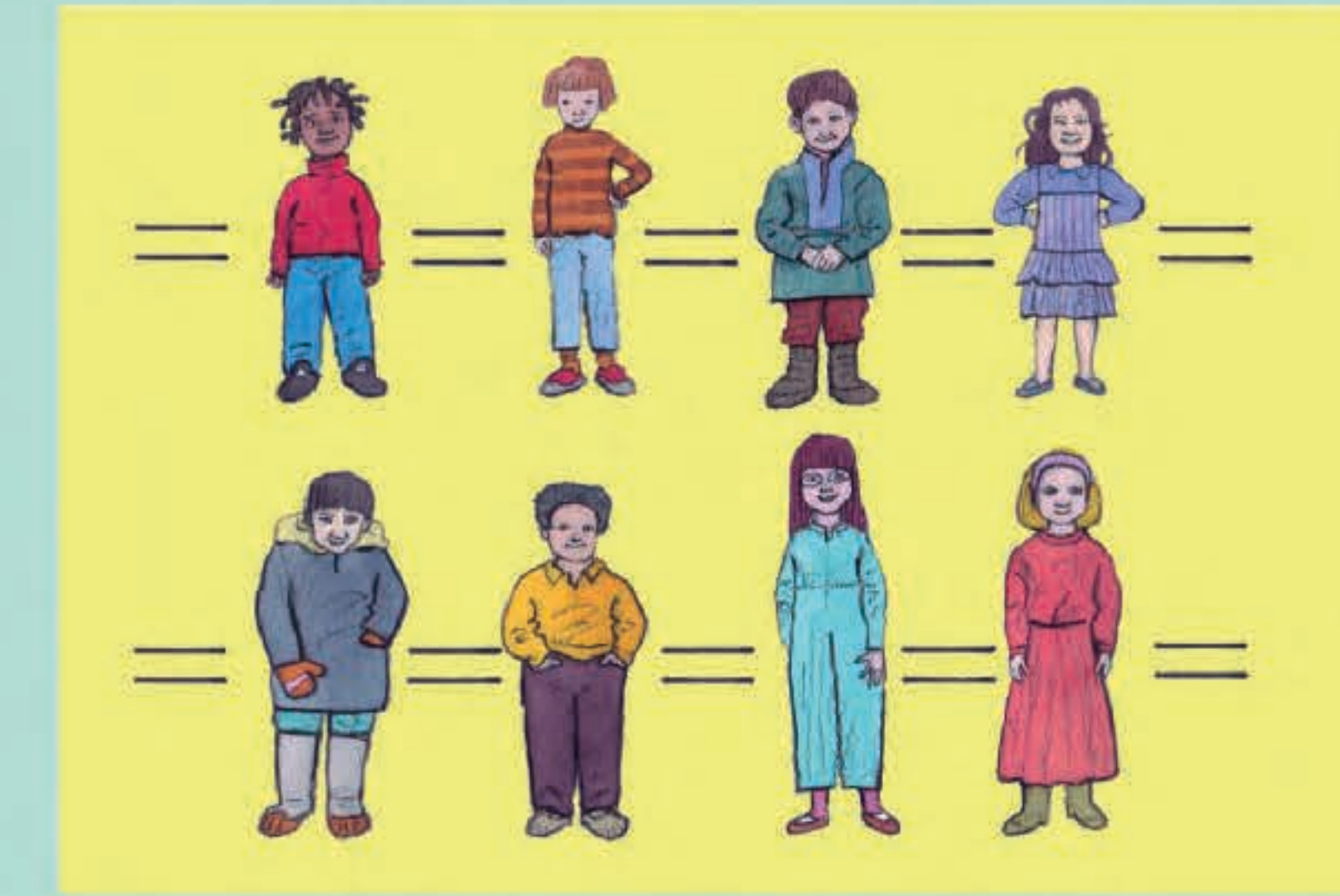
わたしたち子どもは、生命、生存、発達への権利を持っています。わたしたちは、成長に見合った食べ物ときれいな飲み水を得る権利を持っています。

教育を受ける権利



わたしたち子どもは、教育への権利、無料で初等教育を受ける権利を持っています。

差別されない権利



性別、人種、言語、宗教、出身国または民族を理由に子どもを差別する権利は、誰にもありません。

遊ぶ・休む権利



わたしたち子どもは、休息し、遊び、レクリエーション活動に参加する権利を持っています。

意見を表明する権利



わたしたち子どもの意見を聞いてください。わたしたちは、自分の意見を表現する権利を持っているのですから。

暴力から守られる権利



わたしたち子どもは、あらゆる形の暴力や虐待から守られる権利を持っています。

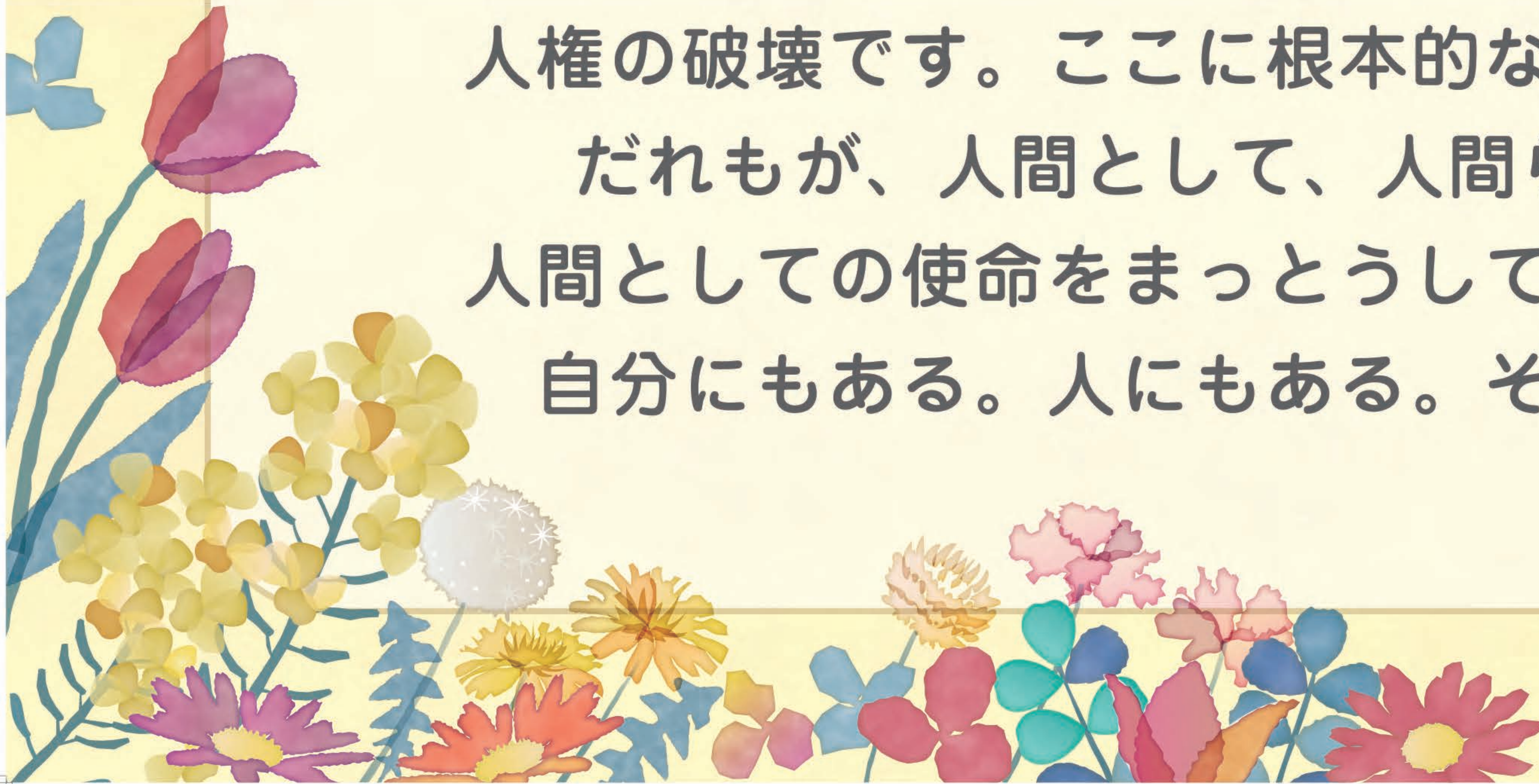
人権って何？

池田先生のことば



人それぞれに使命があり、個性があり、生き方がある。
それを認め、尊重することです。それが自然です。
現に、花たちの世界はそうなっている。百花繚乱ひゃっかりょうらんです。
ところが人間の世界は、違いを尊重できないで、
「差別」をしたり、「いじめ」をしたりする。
人権の破壊です。ここに根本的な不幸が生まれる。
だれもが、人間として、人間らしく開花し、
人間としての使命をまっとうしていく権利がある。
自分にもある。人にもある。それが人権です。

『青春対話』より



メッセージボード

メッセージを書いてね！

子どもから大人へ・・・

大人から子どもへ・・・

